

あびらの未来を、みんなで考える。

新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれていきます。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

前回のおさらい

令和8年の広報あびら3月号、4月号と令和7年7月から8月にかけて実施した「安平町まちづくり町民アンケート」の結果についてお伝えしてきました。

その中で、満足度重要度調査（これまでの取り組みの満足度と将来の重要度をお聞きするもの）では、「子育て・教育」と「健康・福祉」の分野（医療を除く）で比較的満足度が向上し、重要度も依然高まっているという結果でした。

今回のおはなし

引き続き「安平町まちづくり町民アンケート」の結果についてお知らせします。回答者の皆さんが望む「今後の安平町に求めるまちづくりの特色」に関する結果です。



結果の続き

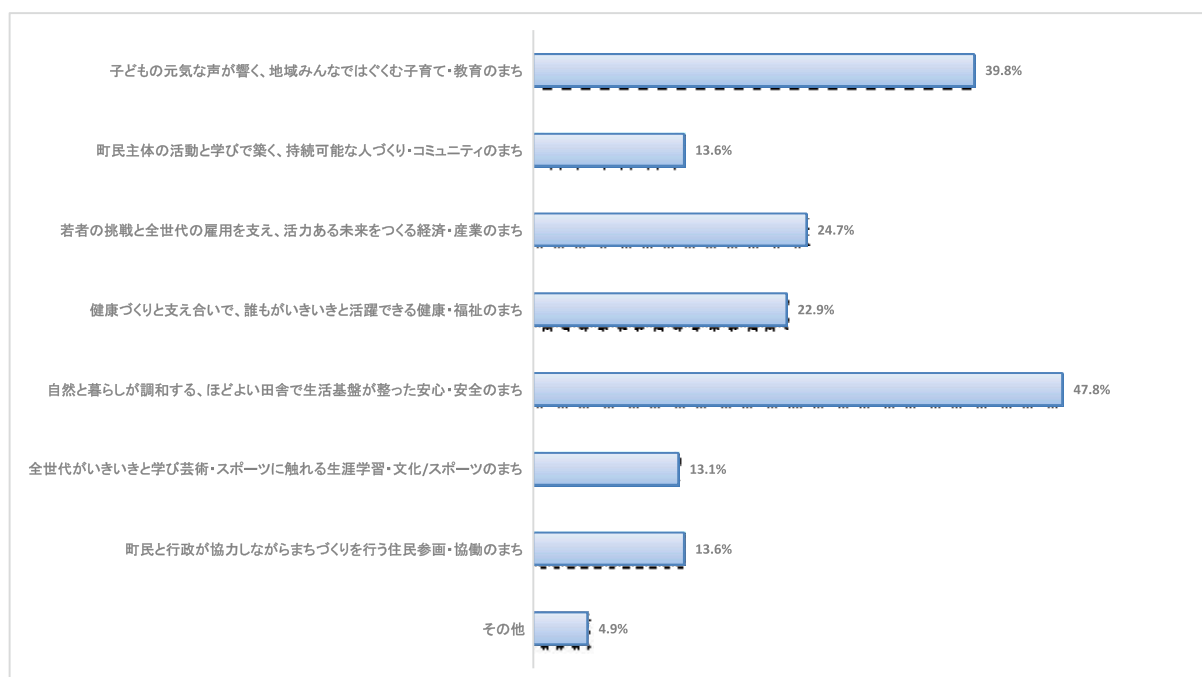
「安平町まちづくり町民アンケート」で以下の質問を行いました。

【質問】

あなたは、今後の安平町がどのような特色のあるまちになることが良いと考えますか（2つまで選択可）。

		件数	割合
1	子どもの元気な声が響く、地域みんなではぐくむ子育て・教育のまち	155人	39.8%
2	町民主体の活動と学びで築く、持続可能な人づくり・コミュニティのまち	53人	13.6%
3	若者の挑戦と全世代の雇用を支え、活力ある未来をつくる経済・産業のまち	96人	24.7%
4	健康づくりと支え合いで、誰もがいきいきと活躍できる健康・福祉のまち	89人	22.9%
5	自然と暮らしが調和する、ほどよい田舎で生活基盤が整った安心・安全のまち	186人	47.8%
6	全世代がいきいきと学び芸術・スポーツに触れる生涯学習・文化/スポーツのまち	51人	13.1%
7	町民と行政が協力しながらまちづくりを行う住民参画・協働のまち	53人	13.6%
8	その他	19人	4.9%
	合 計	702人	180.5%

※複数選択可のため、100%を超えています。



ご覧のように、1番「子どもの元気な声が響く、地域みんなではぐくむ子育て・教育のまち」が約40%、5番「自然と暮らしが調和する、ほどよい田舎で生活基盤が整った安心・安全のまち」が約50%となりました。

現在取り組みを進める第2次総合計画では、目指すべきまちづくりの方向性を『将来にわたって子どもの声が地域に響き、若者・子育て世代で賑わうまち』とし、安平町の強みを活かすべき優先政策分野として『子育て・教育分野』とし、『育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けるまち』を合い言葉（キャッチフレーズ）としてきました。

今回の結果は、これまでの方向性を引き継ぐことを示唆いただいたことに加え、過度に田舎でも都会でもないちょうど良い暮らしの中で、日々の安心と安全を積み重ねていくことを望む方が多いと受け止めています。

この結果を、第3次総合計画の方向性を定める重要な情報として活用したいと考えます。



今後の予定

引き続き「安平町まちづくり町民アンケート」の結果（「望ましい姿」「目指すべき姿」「進むべき方向性」などの自由記載）について、報告を行っていく予定です。

【総合計画に関するご意見】

随時、受け付けています。インターネットからも受け付けていますので、ぜひご活用ください。右記二次元コードからもアクセスできます。

インターネット受付先：<https://www.harp.lg.jp/kyFPjdtc>

郵送先：〒059-1595 安平町早来大町95番地 安平町役場政策推進課 宛

FAX送付先：FAX ㊟ 2026



総合計画に関する問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎ ㊟ 2751